

人材養成の目的、 教育方針(三つのポリシー)

医療保健学部 医療技術学科

人材養成の目的

医療人としての倫理観、使命感、責任感及び臨床検査学、臨床工学の知識・技能を身につけ、日々進歩し続ける医療機器、医療技術の変化に対応し、チーム医療に積極的に関わることのできる医療技術者を養成する。

1. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー: DP)

人材養成の目的に沿って、以下の要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学士(医療技術学)の学位を授与する。・医療保健学部が求める学生像

<知識・理解>(1) 医療技術者としての知識と技能を理解している。

(2) 医療人としての倫理観、使命感、責任感と幅広い教養を身につけている。

<思考・判断>(1) 医療技術者として、個々の事例に対して的確に判断ができる。

<関心・意欲>(1) 日々進歩し続ける医療機器、医療技術の変化に対応して、さらなる知識や技術を積極的に吸収することができる。

<態度>(1) 医療技術者としての使命感や責任感を持ち、他者を思いやり協調して行動することができる。

<技能・表現>(1) 修得した医療技術を安全に実施することができる。

(2) 医療チームの一員としてコミュニケーション力が発揮できる。

2. 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー: CP)

医療保健学部医療技術学科の人材養成の目的を達成するために以下の方針に基づいて教育課程を編成する。

(1) 医療人として幅広い教養を修得させるとともに、コミュニケーション能力を修得するための科目を配置する。

(2) 医療現場で必要となる実践的な知識と技能を修得するために必要な臨床検査学、臨床工学の基礎的な知識を深めるための科目を配置する。

(3) 日々進歩し続ける医療機器、医療技術の現場で、臨床検査学、臨床工学の領域で修得した知識と技能を安全に実施する医療技術者を養成するための科目を配置する。

(4) 科学的根拠に基づいた問題解決能力を養い、生涯を通して学び続ける姿勢を身につける科目を配置する。

3. 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー: AP)

医療保健学部医療技術学科では、医療人としての倫理観、使命感、責任感及び臨床検査学、臨床工学の知識・技能を身につけ、日々進歩し続ける医療機器、医療技術の変化に対応し、チーム医療に積極的に関わることのできる医療技術者の養成を目指し、以下のような資質・能力・意欲を持った人を広く受け入れる。

・医療保健学部が求める人材像

(1) 医療の知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有している人

(2) 人を思いやる心と協調性を持って取り組むことができる人

(3) 物事を論理的かつ多面的に考察することができる人

(4) 何事にも積極的に取り組むことができる人

(5) 医療・保健に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという熱意のある人

(6) 自らの考えを明確に伝えることができる人

入学者選抜では、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書、面接及び小論文などを組み合わせて志願者の能力や資質を総合的に評価する。医療技術学科における基礎となる理論や科学的考察には、理系科目(数学、物理、化学、生物)の考え方や知識が、また、論理的文章力及びコミュニケーション力には文系科目(国語、英語)の知識が必要であり、高等学校段階においてこれらの教科の履修が望ましい。